

みやぎの志教育推進

授業や活動のヒント集 2



夢

をはぐくみ

志

に高める

平成 26 年 2 月
宮城県教育委員会

目次

1	「授業や活動のヒント集2」について	1
2	「みやぎの先人集 未来への架け橋」参考事例	3
	・片平 観平 4	
	・高山 開治郎 7	
	・慶 念 10	
	・二階堂 トクヨ 13	
	・内海 五郎兵衛 16	
	・秀ノ山 雷五郎 19	
	・青柳 文蔵 22	
	・一力 健治郎 25	
	・本多 光太郎 28	
	・櫻井 喜吉 5	
	・河村 瑞賢 8	
	・鎌田 三之助 11	
	・川村 孫兵衛重吉 14	
	・及川 甚三郎 17	
	・落合 直文 20	
	・大槻 磐溪 23	
	・酒井 げん 26	
	・土井 晩翠 29	
	・高山 善右衛門 6	
	・芦 東山 9	
	・佐々木 君五郎 12	
	・大槻 俊斎 15	
	・フランク 安田 18	
	・林 子平 21	
	・富田 鐵之助 24	
	・志賀 潔 27	
3	「授業や諸活動での志教育」参考事例 小学校	30
	・低学年 31	
	・中学年 34	
	・高学年 41	
4	「授業や諸活動での志教育」参考事例 中学校	46
	・第1学年 47	
	・第2学年 48	
	・第3学年 50	
	・全学年 53	
5	「授業や諸活動での志教育」参考事例 高等学校	56
	・高等学校の主な取組 57	
	・平成25年度高等学校「志教育」推進事業 58	
	・平成25年度魅力ある県立高校づくり支援事業 59	
	・参考事例 60	
6	「授業や諸活動での志教育」参考事例 特別支援	65
	・特別支援学級 66	
	・中学部 68	
	・高等部 69	

1

授業や活動のヒント集2について

参考事例をもとに、学校の実情に応じた取組を進めましょう

本冊子は、「みやぎの志教育」の一層の推進に向け、各学校に参考にしてほしい実践例等を集めて作成した指導事例集です。平成24年度末に配布した「みやぎの先人集 未来への架け橋」の道徳を中心とした参考事例や、授業や諸活動での志教育の参考事例を掲載しておりますので、各学校での実践や指導計画の作成・改善等に役立ててほしいと思っています。

本冊子に掲載している事例をそのまま各学校で実践しなければならないということではなく、本冊子を参考に、それぞれの学校の特色や実情に応じた取組を積極的に進めてほしいと考えています。

ヒント集2の活用の仕方

本冊子は以下の2つに分かれています。

- 「みやぎの先人集 未来への架け橋」の参考事例（主に小学校高学年対象）
- 授業や諸活動での志教育の参考事例

(1) 「みやぎの先人集 未来への架け橋」の参考事例について

右図は、「みやぎの先人集 未来への架け橋」における参考事例の基本フォームです。

①は、道徳で活用する際の内容項目を示しています。主となる内容項目に○印を付けています。

②は、主な発問と児童の反応例を示しています。

③は、「みやぎの先人集」を展開する際のポイントを示しています。

④は、「みやぎの先人集」を展開する際の留意事項を示しています。

先人名	タイトル
内容項目 ①	
本時のねらい	
〈展開例〉 ②	ポイント ③
指導上の留意点及び工夫 ④	

(2) 授業や諸活動での志教育の参考事例について

右図は、授業や諸活動での参考事例の基本フォームです。

①は、「志教育」の3つの視点のうち、どの視点で取り上げたかを示しています。

②は、この授業を「志教育」の視点で捉えたときの指導のねらいを示しています。

③は、「志教育」として学習を展開する際のポイントを示しています。

④は、「志教育」の指導のねらいを達成するための手立てを示しています。

①	単元名等	学年・教科等	は た す
	単元・教科等のねらい		
	志教育の視点 ②		
	活動等の流れ		
		ポイント ③	
	夢をはぐくみ志に高める手立て ④		

今後の取組

- 実践を試みながら、年間指導計画に朱書きを書き加えるなどして、年間指導計画の一層の自校化を進めるなど、「志教育」担当教諭を中心に取り組みやすく実効的な方法を工夫しましょう。
- 各学校では、実践事例を累積していくなど、自校化の観点を意識しながら取組を進めましょう。
- 小学校では、全体計画及び年間指導計画に「みやぎの先人集 未来への架け橋」を位置付け、道徳や諸活動に生かしましょう。

「志教育」担当教諭の役割

「志教育」担当教諭の役割は、以下のようなものが考えられます。

- ・ 自校の志教育のあり方についての共通理解に関すること
- ・ 志教育の指導計画の作成に関すること
- ・ 志教育推進のための、各教科、校務分掌等の担当者や各学年との連携に関すること
- ・ 家庭や地域への自校の取組の発信や連携に関すること
- ・ 他校種の学校との連携に関すること
- ・ 志教育推進に係る外部人材や関係機関との渉外に関すること

2

「みやぎの先人集 未来への架け橋」

参 考 事 例

先人名

片平 観平

タイトル

白石の町の水を豊かに

【内容項目】

○4-(7) 郷土愛・愛国心 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○郷土の先人の業績やその過程における苦労などを理解し、その心情に迫ることで郷土を誇りに思い、人や社会のために行動することの尊さを感じ取って、郷土の発展に努めようとする心情を育てる。

〈展開例〉

※片平翁の石碑の写真を見て知っていることを発表させる。

- ・「片平観平」の石碑。 ・神明社の大鳥居の近くにある。
 - ・水害に苦しむ白石の人々を救うため、私財を投げ打って治水工事を行った人。
 - ・切通トンネルを作った人。
- ※児童から出されたポイントになる記述を板書する。

ポイント

●昔の時代背景や地域の人々の困難、新しい事業への反発がどれ程だったかを押さえておく効果的です。

※資料（最後の6行をカットしたもの）を配布する。

○工事に取りかかった頃、餓えで死ぬ人たちが増えている状況だったにもかかわらず、工事を続けたことについてどう思いますか。

- ・大変なときだから工事は遅らせた方がよかった。
- ・米が十分にとれるための工事は続けるべきだ。

○観平はなぜ困難な工事を続けられたのでしょうか。

- ・この工事が必ず白石の人のためになるという強い思いをもっていたから。
- ・片倉家の米の支援もあったから。
- ・くじけそうになるときもあったと思うけれど、仲間がいたから。

○大雨の後不安な気持ちで隧道を見に行き、流れ込む水を見た観平はどんなことを考えていたのでしょうか。

※場面絵を活用する（観平）吹き出しの活用

- ・よかった。 ・天の助け。 ・ほっとした。 ・うれしい。 など

○観平のような生き方をどう思いますか

- ・人のために自分の財産も投げ打ってできるなんて。
- ・自分も少しでも人の役に立つ仕事がしたい。
- ・自分にできるかどうかは分からないけれどすごいと思う。

ポイント

●困難にあたり悩む人間の弱さにも気づかせ、認めることで、共感すると共に、自分のできることに目を向け意欲がもてるようにしましょう。

※配布された資料（最後の6行）を読み、現在も観平の志が受け継がれていることを知らせる。

ポイント

●観平の生き方について考えたことなどをこれまでの自分の生活を振り返りながら書かせましょう。

指導上の留意点及び工夫

- ・片平観平の生き方について考えることで、郷土への誇りをもったり、自分のできることを考えたりするきっかけとする。学活や行事の中で、地域における自分の果たす役割や責任について考えられるような時間を設ける。
- ・隣の席の児童同士で考えを交流したり、主発問についてノートやワークシートに書かせたりして、考えを深めさせる。
- ・片平観平の志が今日も受け継がれていることに目を向けさせ印象付けるため、資料を分割提示する。

先人名

櫻井 喜吉

タイトル

わけへだてなく命を救う

【内容項目】

○3-(1) 生命尊重 ・ 2-(2) 親切

【本時のねらい】

○郷土の先人「櫻井喜吉」が船迫の人々の命を守るために行ったことを知り、その志にふれると共に、命の大切さについて考えさせる。

〈展開例〉

※櫻井喜吉と髪塚の写真を掲示

○この石碑を見たことがありますか。

- ・町探検の時見たよ。
- ・うちの近くで見たよ。

※場面絵を用いて、資料について分かりやすく話して聞かせる。

- ・ミヨという女の子が手遅れでなくなったこと。
- ・その頃の船迫の人々は貧しく治療費や薬代が払えなかったこと。
- ・診療所がないこと。
- ・喜吉の診療所までは危険な道を通らなければならないこと。

○喜吉はどのような思いから船迫に治療費も薬代も無料の診療所を作ったのでしょうか。

- ・人々が困っているのを放っておけない。
- ・頼まれたから作ってみよう。
- ・もう少し早く医者にかかれれば、救われる命がたくさんある（ミヨとセツの件から）。
- ・みんなの命を救ってやりたい。
- ・お金がなくても安心してかかれる場所を作りたい。

○かさつく両手を洗いながらふうっと大きく息をはき出した喜吉はどんなことを考えていたでしょう。

- ・ミヨのことも助けてやりたかったなあ…この女の子のように…。
- ・少しは休みたいなあ…でも…。
- ・みんなが喜んでくれてよかった。
- ・皆の命を守ってやれてうれしい。
- ・大変な仕事だけれど頑張ってやらなければ。

○櫻井喜吉が船迫のためにしてくれたことについてどう思いますか。

※教師の説話

ポイント

●写真を掲示し、自分たちに関係の深い人であることを知らせ、資料に興味をもたせましょう。

ポイント

●児童の実態に合わせて資料の内容を分かりやすい言葉で話して聞かせたり、場面絵を黒板に貼っていきながら提示したりすると効果的です。

ポイント

●息をはき出す喜吉の様子や休みなく無報酬で働く喜吉の姿から、非常に大変な思いをしながらも皆のために必死で診療を続ける喜吉の心の中の様々な思いを想起できるようにすることが大切です。様々な視点からの考えを引き出したいところです。

指導上の留意点及び工夫

- ・導入で櫻井喜吉や髪塚の写真を見せて、学習への意欲の喚起をはかる。
- ・中学年等で扱う場合は、資料を必要に応じて要約したり、簡単な言葉に直したりして、話して聞かせる。
- ・授業で先人の思いや願いに共感し、志を知り、自分の住む地域のため尽くしてくれたことに感謝すると共に、郷土に対して愛着を感じ、さらに知りたいと思う気持ちをもてるようにする。
- ・中心発問の話合いの中で、救えなかったミヨとにっこりほほえみ顔いた女の子を対比して考えさせてもよい。

先人名

高山 善右衛門

タイトル

ふるさとに豊かな大地を

【内容項目】

○4-(7) 郷土愛・愛国心 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○郷土の先人の業績や苦勞を理解し、その心情に迫ることで郷土に誇りをもち、人や社会のために行動することの尊さを感じ取らせ、郷土の発展に努めようとする心情を育てる。

〈展開例〉

※「上水翁の銅像」の写真から、知っていることや疑問に思ったことを発表させる。

- ・高山善右衛門の銅像だ。 ・角田に水を通した人である。
- ・見たことがある。 ・何をした人だろう。

※資料を範読する。

○善右衛門は、来る日も来る日もどんなことを考え続けましたか。

- ・水不足は大変な問題だ。
- ・阿武隈川から水を引くにはどうしたらいいだろう。
- ・ばく大なお金をどう工面すればいいだろう。

○工事の計画が認められても、天候不順により町が大変な状況になりました。それでも工事を始めようとしたのは、善右衛門にどんな気持ちがあったからですか。

- ・今苦しくても頑張れば将来良い生活ができるようになる。
- ・天候不順で農業はできないが、用水工事という仕事があれば食べていける。
- ・角田の町のためには用水が必要なのだ。
- ・自分の財産よりも、人々の幸せが大切だ。

○楽隊に続いて歩いた善右衛門は、用水と町の人々の笑顔を交互に見つめながら、どんなことを考えましたか。

- ・これでやっと角田の町もよくなる。
- ・頑張ってきて良かった。
- ・将来のことを考えた取組は、やはり大切である。

○高山善右衛門のような生き方をどう思いますか。

- ・人のために財産を投げ打つ覚悟で行動できるのはすごい。
- ・自分も人の役に立つ仕事をしてみたい。

ポイント

●写真の知識をもたない児童が多いと予想されます。「上水」は飲用等のために供給されたきれいな水であることを知らせた上で、これから用水を作った人について学習することを伝え、見通しをもたせると効果的です。

ポイント

●食べ物がなく苦しい人々の生活の様子と心情を感じ取らせた上で、善右衛門が人々のことを真剣に考え、行動していることに共感させることが大切です。

ポイント

●善右衛門の生き方に対する感想だけでなく、自分はどうしていきたいかという視点を与えると効果的です。

指導上の留意点及び工夫

- ・発問に対する考えをノートやワークシートに書かせたり、児童同士で考えの交流をさせたりすることにより、考えが深まるようにする。
- ・導入で善右衛門の写真を見せるなどして、学習への意欲の喚起を図る。
- ・長文なので、児童には事前の一読させてもよい。その際は、導入の写真提示の部分を省略する。

先人名

高山 開治郎

タイトル

桜並木を後世に

【内容項目】

○4-(7) 郷土愛・愛国心 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○郷土の文化と伝統を大切に、先人の努力を知り、郷土を愛する心情を育てる。

〈展開例〉

※ふるさと大河原の自慢を発表させる。

・桜 ・一目千本桜 ・さくらまつり ・景色がいい など

※教師の範読を聞き一目千本桜はいつごろどのようにしてできたのか考えながら資料を読む。

○ふるさとの景色を思うたび、開治郎はどんなことを思っていたのでしょうか（東京へ下働きに出ているときの開治郎の心情を想像する）。

・帰りたい。 ・なぜこんな目に遭わなくてはいけないのか。

○ふるさとの方角を見て開治郎はどんなことを考えていたのだろう（成功を収め、ふるさとの苦境を知った開治郎の心情を想像する）。

・みんなは元気だろうか。 ・ふるさとに何かしたい。

◎生徒たちを見つめながら開治郎はどんなことを思っていたのでしょうか（一生懸命若木を植樹する生徒たちを見つめる開治郎の心情を想像する）。

・うまく根付くだろうか。 ・みんな喜んでくれるに違いない。

・満開の桜が目浮かぶなあ。 ・あとは頼んだよ。

・大きく育てほしい。

○今も人々の心に咲き続ける開治郎の思いとはどんなものでしょう。

・今日の勉強を通して、開治郎について考えたこと、心に残ったことなどをワークシートにまとめる。

※教師の説話例

・保全活動をしている団体の一つである「おおがわら桜の会」の方からうかがった話（桜へ寄せる思いや他の団体と連携して年間を通して活動していることなど）を聞く。

ポイント

●あらかじめアンケート等で尋ねておいて、その結果を紹介しながら、全体の意見を桜関連のことに集約していきます。

●新聞記事や写真資料を参照させながら、桜祭り期間だけで観光客が県の内外から20万人以上になることや、東北の代表する桜の名所として名高いことを伝えます。それらを踏まえ、一体誰が、いつ、何のために、どのようにして作ったのか投げかけて、資料を開かせます。

●主発問についてワークシートに開治郎の思いを想像して書かせます。前の補助発問については時間短縮と焦点化を図るため書かせません。書いたことを基にペアで互いの意見を知り、自分の意識を高められるようにします。

●彼の生き方について考えたことや、心に残ったことなど、これまでの自分を振り返りながら考えさせるようにします。

●桜の寿命以上の年月が経っていることを押さえ、保全や植樹が断々と続けられていることに気付かせます。

●手紙形式で紹介し、結論をまとめず、オープンエンドで余韻をもたせて終わります。

指導上の留意点及び工夫

- ・学習への意欲を喚起するために、導入で「さくらまつり」の写真などの映像資料をモニタで拡大表示する。
- ・ワークシートを作成し、開治郎の思いについては主発問に関わる箇所に重きを置いて書かせるようにする。
- ・彼の志を受け継いで保全活動を続けてきた人々の努力について、「桜の会」の方からの話を紹介することで、自分にも何かできることはないか、何をすべきかなど自己の生き方を考える契機とする。

先人名

河村 瑞賢

タイトル

東廻り航路を拓く

【内容項目】

○4-(3) 役割・責任 ・1-(5) 真理・創意進取

【本時のねらい】

○身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす態度を育てる。

〈展開例〉

○幕府から御城米を江戸に運ぶ仕事を任された瑞賢は、どんな気持ちだったのでしょうか。

- ・私は、そのような大きな仕事をやり遂げられるだろうか。
- ・今までの私の仕事が認められたから、このような仕事を頼まれたのだ。
- ・よい方法を考えて、この大きな仕事をしっかりとやり遂げよう。
- ・安全に運ぶには、これまでの仕事と同じように工夫を重ねることが必要だ。しっかりと考えていこう。

○江戸までの航路をなかなか決められないとき、瑞賢は、どんなことを考えていたのでしょうか。

- ・どんな航路を考えれば、安全に運ぶことができるのだろうか。
- ・船頭さんたちの話を聞けば、きっとよい方法が見つかるに違いない。
- ・船が難破する原因を詳しく調べて、必ずよい方法を見つけるぞ。

○「これで、きっと江戸へ米を送ることができる。」と荒浜の港に立ち、船を見送りながらつぶやいた瑞賢は、どんなことを考えていたのでしょうか。

- ・廻米船が、無事に江戸までたどり着いてほしい。
- ・これまで、御城米を安全に運ぶことができる準備を進めてきたのだ。きっと無事に江戸までたどり着くはずだ。
- ・多くの人々の協力があって、ようやく廻米船が出発する日を迎えることができたのだ。やり遂げた満足感でいっぱいだ。

○自分の役割を果たすことができたことを紹介しましょう。

- ・委員会活動の仕事にしっかりと取り組み、みんなの役に立つことができた。
- ・縦割り活動で低学年の世話を進んで行い、楽しい活動にできた。

ポイント

●書き出しの文章に瑞賢の思いが表れています。努力と工夫を重ねながら江戸までの新しい航路を切り開き、ようやく自分の役割を果たすことができたと感じる瑞賢の気持ちを考えさせましょう。

ポイント

●身近な集団での自分の立場や全体での動きを振り返らせ、自分の役割と責任を果たすことができたことを紹介する時間を設定すると効果的です。

指導上の留意点及び工夫

- ・場面ごとに、自分の役割を果たそうとする瑞賢の記述に共感させながら読み進めさせる。
- ・幕府からの依頼を受けて、創意工夫を重ねながら、自分に与えられた役割を一生懸命果たそうとする瑞賢の取組に共感させる。
- ・自分の役割を果たすことができたことを紹介する中で、役割を果たすことが集団の役に立つ喜びにつながり、さらには主体的な活動への意欲が高まることを感じ取らせる。

先人名

芦 東山

タイトル

今だからこそできる

【内容項目】

○4-(3) 役割・責任 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○自分の役割を自覚して責任を果たすとともに、主体的に全体の向上に役立とうとする態度を育てる。

〈展開例〉

○「何らかのところがめがあるかもしれない」と思いながらも、東山はどんな思いで藩に意見を出したのでしょうか。

- ・自分の考えは間違っていない。
- ・学問はすべての人に平等であるべきだ。
- ・親の身分ではなく、目上の人を尊重すべきである。

ポイント

●儒学者としての信念を曲げようとしなかった東山の心の強さをとらえさせることが大切です。

○「今だからこそできる」とつぶやいた東山は、どんな気持ちで刑法の本を書き進めましたか。

- ・いつかは自分の考えが分かってくれる時がくる。
- ・今ここで諦めてしまってはだめだ。今できることをやろう。
- ・自分の考えを信じよう。

ポイント

●他人預けの刑にされた東山のつらさにも共感させたいところです。

◎「無刑録」を完成させたとき、東山はどんなことを考えましたか。

- ・儒学者としての自分の役割を少しでも果たせた。
- ・少しでも多くの人に読んでもらい、理想の社会を作りたい。それが私の務めだ。
- ・今できることはやり通した。

ポイント

●幽閉されながらも、儒学者としての責任を果たそうとした東山の信念をとらえさせることが大切です。

○自分の経験を振り返り、自分の責任を果たすことについて考えたことを書きましよう。

指導上の留意点及び工夫

- ・事前に、係の仕事などで責任を果たそうとした時に、友達から嫌な思いをさせられた経験などについてアンケートを取り、導入で提示する。
- ・江戸時代の身分制度（士農工商）について、社会科の学習との連携を図りながら補足説明する。また当時、仙台藩に対して意見を出すということは命がけであったことを押さえておく。

先人名

慶 念

タイトル

かけがえのない命

【内容項目】

○3-(1) 生命尊重 ・ 1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○生命のかけがえのなさを自覚するとともに、人間誕生の喜びや死の重さについて知り、よりよく生きようとする心情を育てる。

〈展開例〉

○すでに赤ん坊がいなくて知って道ばたにひざまずいてしまった慶念は、
どんなことを考えていたでしょうか。

- ・ どうして命の大切さが分からないのか。
- ・ 親は赤ん坊がかわいくないのか。
- ・ せっかく生まれてきたのにかわいそうではないか。

○預かった赤ん坊に自分のほっぺをくっつけた時、慶念は赤ん坊にどんな言葉をかけたと思いますか。

- ・ もう大丈夫。
- ・ わたしが育てるから安心しなさい。
- ・ 親をうらんではいけないよ。

○自分が救った赤ん坊が大きくなって、次の世代に命をつないでいく様子を、慶念はどんな思いで天国から見ているでしょうか。

- ・ わたしの願いが届いている。こんなにうれしいことはない。
- ・ これからもずっと命を大事にしてほしい。
- ・ わたしの子どもたち、今度は自分の命を、あなたの子どもの命へとつないでください。
- ・ 命はたった一つ、かけがえのない命を大切にしてほしい。
- ・ あなたの一つの命を未来へリレーしてほしい。

○これまで、自分や他人の命をどれくらい大事にしてきましたか。自分を振り返りながら、天国の慶念に手紙を書きましょう。

ポイント

●資料を読み聞かせた後で、慶念の言葉「人が人であるための正しい道がどうして分からぬか。」を板書し、慶念の思いに着目させると効果的です。

ポイント

●命が大事であることだけでなく、一つの命が後世へとつながる大切さにも気付かせる発問を投げかけると効果的です。

指導上の留意点及び工夫

- ・ 事前に生命尊重に関するアンケートをとっておき、導入で提示する。
- ・ 江戸時代の飢饉の様子について、補足説明をする。
- ・ 終末の慶念への手紙を書かせる時に、導入のアンケートを再度注目させ、振り返りの観点とする。
- ・ 終わりに、赤ん坊等の写真資料を見せ、命を大切にしようとする気持ちを深めさせる。

先人名

鎌田 三之助

タイトル

郷土や国を愛する心

【内容項目】

○4-(7) 郷土愛・愛国心 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○郷土を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心を育てる。

〈展開例〉

○雨の日も雪の日も、一軒一軒訪ねて回った三之助は、どんなことを考えていたでしょうか。

- ・あきらめたくない。祖父の思いを引き継ぐと決めたのだ。
- ・母の応援に応えたい。自分自身の手で豊かな村にするのだ。
- ・鹿島台の町の人々も豊かな町を望んでいるはずだ。
- ・品井沼の干拓を成功させ、私たちのふるさとを豊かな土地にしてみせる。

◎勢いよく流れる水をじっと見つめ続けながら、三之助はどんなことを考えていたでしょうか。

- ・みんなの手でやり遂げた。頑張ってきてよかった。
- ・途中であきらめることなく、品井沼のことを思い続けてきてよかった。
- ・おじいさん、天国から見ていますか。品井沼はようやく生まれ変わります。
- ・排水路が完成した。鹿島台の町はこれで豊かになる。
- ・こんなにうれしいことはない。町の人々の手で、町を豊かにすることができる。
- ・町の人がこんなに喜んでいる。これからも鹿島台の町のために、わたしは尽くしていきたい。

○「わらじ祭り」には、鹿島台の町の人々のどんな思いが込められていると思いますか。

- ・わらじ村長を誇りに思い、感謝している。
- ・わらじ村長のように自分たちの町を大事にしたい。
- ・三之助の思いを私たちが引き継ぐ。

○私たちが住んでいる町のよさを受け継ぐとは、どんなことでしょうか。

ポイント

●三之助の行動を支える郷土への深い愛情に気付かせていくのが大切です。

ポイント

●以下の観点でワークシート等を書かせ、意図的指名によって発表させると効果的です。

- ・あきらめず勇気をもって行動する大切さについて
- ・努力を続けた達成感について

●ふるさとの発展に喜びを感じている三之助の思いに気付かせるのが大切です。

指導上の留意点及び工夫

- ・事前に自分たちの町のよさに関するアンケートをとっておき、導入で提示する。
- ・終末には、導入時で提示したアンケートにもう一度着目させ、町のよさを受け継ぐとは、どんなことかを考えさせる。

先人名

佐々木 君五郎

タイトル

より高い目標に向かって

【内容項目】

○1-(2) 希望, 勇気, 不撓不屈 ・ 4-(7) 郷土愛

【本時のねらい】

○困難を乗り越え, 自分の目標に向かって努力を続けた「佐々木君五郎」の生き方から, 自分で決めた夢や目標に向かい, 信念をもってくじけずに努力しようとする態度を育てる。

〈展開例〉

○君五郎は, 江合川の堤防が切れて, 田畑や民家が大きな被害を受ける様子を目にしてどんな事を思っていたでしょう。

- ・洪水の被害で苦しんでいる人たちを助けたい。
- ・洪水の被害をなくしたい。
- ・何とかできないのだろうか。

ポイント

●導入で, 君五郎の一生を簡単に説明し, 君五郎の生き方に関心をもたせると効果的です。

○周りの人から植林の事を理解されなかったり, 「頭が変になった」とうわさされたりした時, 君五郎はどんな事を思ったでしょう。

- それでも, 植林を続けたのはどうしてでしょう。
- ・やっぱり無理なことなのかもしれない。
- ・自分の考えは間違っているのか。
- ・もうやめてしまおうか。
- ・父親しか理解してくれないのか。
- ・人々の苦しみを思えば, 頑張っ続けていかなければならないと思ったから。

ポイント

●君五郎が子どもの頃に江合川の洪水の被害を目の当たりにし, 洪水を防ぎたいという志を持ち, 様々な困難を克服し, 不撓不屈の精神で成し遂げていく姿に共感させていくことが大切です。

○穏やかに流れる江合川を見て, 君五郎は目を細めながらどんな事を思っていたでしょう。

- ・洪水の被害が無くなってほしい。
- ・植林が進んで, 洪水で苦しむ事が少なくなるだろう。
- ・つらかったこともあったが, 頑張ってきて良かった。
- ・もっと植林をして, 洪水で困る人がないようにしよう。

ポイント

●事前のアンケート結果を活用しながら, 価値の主體的自覚を図りましょう。

○これまで目標に向かって頑張ったことややり通せなかったことについてどんなことがありますか。その時, どんな気持ちでしたか。

- ・目標を立てても途中であきらめてしまい, 自分が情けなかった。
- ・最後まで頑張ったこともあった。苦しくても頑張った良かったと思う。

指導上の留意点及び工夫

- ・事前に目標に向かって頑張ったことや, やり通せなかったことについてのアンケートをとっておき, まとめに活用する。
- ・主人公の信念の強さとともに, 人間の心の弱さにも触れさせながら展開していくようにする。

先人名

二階堂 トクヨ

タイトル

新しいものを求めて

【内容項目】

- 1-(5) 心理・創意進取 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

- 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくしようとする心情を育てる。

〈展開例〉

- 黙ったままくちびるをかみしめたトクヨは、どんなことを考えていたでしょうか。

- ・知っているつもりだった……。なんて恥ずかしい。
- ・日本の女子体育は、こんなにも遅れているなんて……。
- ・勉強しなければならないことが山ほどある……。

- 二階堂体操塾を巣立っていく生徒たちを、トクヨはどんな思いで見送ったと思いますか。

- ・日本の女子体育はあなたたちにかかっています。
- ・号令に合わせただけの体育ではなく、楽しい体育を広めてください。
- ・あなた方は、立派な体育教師に育ちました。二階堂体操塾で学んだことを日本各地に広めてください。
- ・楽しい体育を日本のすべての人たちに教えてください。
- ・わたしが教えられることは、すべて教えました。これからは、あなた方が新しい楽しい体育を求めて努力してほしい。
- ・日本の体育の発展をあなた方に委ねます。頑張ってください。

- 生徒たちは、トクヨから学んだ「楽しい体育」をどんな思いで広めていったと思いますか。

- ・トクヨ先生、ありがとうございました。ここで学んだ新しい体育を生徒に教えていきます。
- ・トクヨ先生から、新しいものを創り出す努力の大切さや勇気を学びました。今度は、わたしが全国の生徒たちに伝えていきます。

- 二階堂トクヨのように、新しいものを求めた人たちの話を読みましよう。

ポイント

●明治時代の日本体育とイギリスの体育との違いを押さえ、トクヨが、刺激を受けたことに気付かせるようにすることが大切です。

ポイント

●楽しい体育を広めてほしいという思いと同時に、生徒たちにも新しいものを求める姿勢を引き継いでほしいという思いがあることに気付かせるようにすることが大切です。

指導上の留意点及び工夫

- ・事前に創意進取に関するアンケートをとり、導入で提示することで意欲付けを図ってもよい。
- ・明治という時代背景やそのころの女子体育の様子について、補足説明をする。
- ・終末に、「湯川秀樹」や「マリー・キュリー」等の先人に触れ、新しいものを求める気持ちを深めさせる。

先人名

川村 孫兵衛重吉

タイトル

北上川の流れを変える

【内容項目】

○4-(3) 役割・責任 ・4-(7) 郷土愛・愛国心

【本時のねらい】

○仙台藩主・伊達政宗の命を受け、身近な人々の生活を向上させるために、多くの苦難を乗り越えて、北上川の改修工事を成功させた「川村孫兵衛重吉」の生き方に触れることを通して、自己の役割に責任を持ってやり遂げることの大切さを理解し、自分たちの地域に対する誇りと愛情をもたせる。

〈展開例〉

○川村孫兵衛重吉とはどんな人でしょう。

※石巻川開き祭りの写真（夜の花火大会・孫兵衛船競漕）を提示し、祭りの由来について話し、川村孫兵衛重吉が伊達政宗の命令を受けて、北上川の工事を請け負ったことを知らせる。

※孫兵衛のお墓が釜地区にあることや校歌の中に「重吉」が含まれていることを伝える。

※その時代の宮城県の北部は湿地が多く、洪水に悩むことが多かったので、新しい水田を作って、土地を豊かにしようと考えていたことを教える。

ポイント

●写真や古地図等を活用して、時代背景をつかませると良いでしょう。

○川の水で家や田畑が飲み込まれて困り果てている人々を見ながら、孫兵衛はどんなことを思っていたでしょう。

- ・こんな苦しい思いはさせたくない。必ず改修工事を成功させる。
- ・自分が今まで経験してきた土木の仕事で、人々を救いたい。

ポイント

●「書く活動」を設定し、自分の考えを整理し、まとめさせると良いでしょう。

○工事ははかどらず、周りからの非難を受けて、孫兵衛はどのような思いだったでしょう。

- ・苦しんでいる人たちがいるのだから頑張ろう。
- ・ここであきらめたら、今までの苦労が無駄になる。
- ・お金も尽きたし、もうやめようかな。
- ・一生懸命やっても、終わらないかもしれない。

○川の合流工事を終えて、新しい川を見つめる孫兵衛は、どんなことを考えていたでしょう。

- ・これで、今まで苦しんでいた人々が助かる。
- ・あきらめずに最後までやり通して、本当に良かった。

ポイント

●役割を「はたす」の視点から考えさせると良いでしょう。

○今までの学校や家での自分の役割を振り返って、役割を果たせたことと果たせなかったことで、どんなことがありましたか。

指導上の留意点及び工夫

- ・多くの苦勞を乗り越え、自分の役割に責任をもって、最後まで遂行できた喜びや達成感を感じ取らせる。
- ・孫兵衛の役割と学校や家庭での自分の役割について考え、これからの自分の生き方を考えさせる。

先人名

大槻 俊斎

タイトル

多くの人に新しい医療を

【内容項目】

○1-(2) 希望・勇気・努力 ・3-(1) 生命の尊重 ・4-(7) 郷土愛

【本時のねらい】

○より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする態度を養う。

〈展開例〉

○夢という言葉からどんなことを連想しますか。

- ・将来なりたいもの
- ・実現させたいもの

ポイント

●読後に出身の赤井村の人々の温かさや強さについて補説します。

○大槻俊斎はどんな生き方だったのか、夢は何だったのかを考えながら本を読んでみましょう。

- ・先祖は開拓者であり、いつも「先祖が未開の地を開拓したように自分の運命を切り開いていかななくてはならない」と言い聞かされて育った。
- ・出身の赤井村の人々や医者仲間たちの支えで、学問を続けることができた。
- ・当時、致死率の高かった「天然痘」予防のための「種痘」を広めるため、仲間と「お玉が池種痘所」を作り、たくさんの江戸の人々の命を救った。

ポイント

●時代背景や天然痘の恐ろしさ等を挿絵や写真等を用いてとらえさせます。

○せっかく作り上げた「種痘所」が大火で失われても、あきらめず再建し、病気で困っている人の治療に全力を注いだのはなぜでしょうか。

- ・病気で困っている人を黙って見ていらなかったから。
- ・出身の赤井村の時代から頭取となった現在まで、自分の医学の修業のために多くの人々が協力してくれた。その気持ちに応えるためにも、あきらめるわけにはいかなかったから。

ポイント

●病気で困っている人を助けるために頑張った俊斎の生き方に共感させます。

○大槻俊斎の生き方や夢をどう思いましたか。

- ・どんなときでもあきらめないところがすごい。
- ・まわりの人の協力と本人の努力があって夢が実現できたと思う。

ポイント

●夢について話し合うことを通して学ぶ意欲や将来の生き方を考えさせるようにします。

○自分の将来の夢に向かって、努力していることはありますか。そしてそれはどんなことですか。

- ・警察官になるために、空手で体を鍛えている。
- ・保育士になるために、勉強を頑張っている。

指導上の留意点及び工夫

- ・難しい用語には、適宜解説を加える。
- ・学習発表会で劇化することにより、志を高くもつことへの意欲を高めることができる。

先人名

内海 五郎兵衛

タイトル

命と生命の架け橋をつくる

【内容項目】

○1-(2) 希望・勇気・努力 ・4-(5) 家族愛

【本時のねらい】

○悲しみや多くの困難を乗り越え、自らの思いを実現させた「内海五郎兵衛」の生き方に触れることを通し、自分自身の夢や目標の実現に向けて努力を続け、自分でやろうと決めたことはあきらめずに最後までやり遂げようとする態度を養う。

〈展開例〉

- 内海五郎兵衛はどんな人だったのでしょうか。
※当時は医者や近くにいなかったこと、石巻の北上川には一本の橋もかかっておらず、船で渡っていたこと等地理的状況などについて地図や写真資料等を用いて説明する。
- 布団に横たわる父の姿をじっと見つめ、涙を流しながら、五郎兵衛はどんなことを思っていたのでしょうか。
・もっと早く医者を呼んでいれば、父は助かったかもしれない。
・間に合わなかった。何としてもお医者さんと呼んで来ればよかった。
・橋があれば父を助けることが出来たのに…。悔しい。
・医者呼んで来ることが出来なかった。「父さん ごめん。」
・ちくしょう。橋さえあれば助けることができたのに。俺に力がないから…。
・どうして雨なんか降るんだ。雨が降ってなければ間に合っていたかもしれないのに。
- 壊れた橋を目の前にして、五郎兵衛は心の中でどんなことを考えていたのでしょうか。
・なんていうことだ。せっかくもうすぐ出来るところだったのに…。でもここで俺があきらめてはいけない。もっともっと丈夫な橋を作ろう。
・自分と同じ思いをして苦しんでいる人がいるはずだ。その人のためにも必ず橋を建てる。絶対にあきらめない。
・今までやってきたことがすべて無駄になってしまった。これ以上は無理かもしれない。
・そんな馬鹿な。こんなにも努力して、生活まで切りつめてやってきたのに…。絶望的だ。
- 出来上がった橋を見ながら、五郎兵衛はどんなことを考えていたのでしょうか。
・やっと橋を完成させることができた。「父ちゃんやったよ。」
・これで川を渡れるようになった。自分と同じような思いをする人がいなくなるだろう。
・自分の思いをやり遂げることができた。橋を作ることが出来てうれしい。
・これでみんなも喜んでくれるだろう。いつでも川を渡ることができるようになる。
- これまで自分が頑張ったことはどんなことですか。またこれからどんな目標を立てていきたいですか。
・一生懸命にクラブの練習を頑張っ、もっともっとうまくなりたい。そして自分の夢をかなえたい。
・今まではつらいことがあると何でもすぐにあきらめてしまっていた。でもこれからは目標に向かって最後までやり抜きたいと思う。

ポイント

●石巻市の古い写真や古地図等を提示して当時の様子を知らせたり、内海五郎兵衛の写真等を提示して関心をもたせたりするなど、資料の工夫を図ることが大切です。

ポイント

●ペアでの意見交換や全体の場での考えの相互交流等を行うと効果的です。

ポイント

●まとめとして、障害や震災を乗り越え、オリンピック招致を行った佐藤真海さんのプレゼンテーションなどを紹介するとよいでしょう。

指導上の留意点及び工夫

- ・内海五郎兵衛の生きた時代背景や当時の石巻の様子について押さえることができるよう、当時の石巻の様子を表した地図や現在の石巻の写真などを提示しながら興味・関心を高めていく。
- ・児童一人一人が自分なりの意見や考えをもつことができるよう時間を確保し、自分の考えをワークシートに書いたり、短冊等を利用して児童相互の意見交流の場を設定したりする。
- ・多くの困難を乗り越え、自己の信念を貫き通した内海五郎兵衛の生き方を通して、これまでの自分の生活や行動を振り返ることを通し、自らの考えや思いを深める。

先人名

及川 甚三郎

タイトル

夢を追い続ける

【内容項目】

- 1-(5) 真理・創意進取 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

- チャレンジ精神をもち、積極的に新しいことに取り組もうとする心情を育てる。

〈展開例〉

- 何かにチャレンジした経験はありませんか。
- ・スポーツ少年団に参加して、優勝を目指した。
 - ・新しいスポーツに取り組んでみたが、途中でやめてしまったことがあった。
- 甚三郎は、なぜ、実業家として成功し、地域の産業を発展させることができたと思いますか。
- ・思い立ったら、納得するまでやってみないと気がすまない性格だったから。
 - ・情報を手に入れたり、物事を注意深く見て考えたりする力があったから。
 - ・自分のことだけでなく、地域の人々のことを考える気持ちをもっていたから。
- 知り合いからカナダのフレーザー川の鮭の話聞き、「え、ほんとうか」とつぶやいた甚三郎は、どのようなことを考えましたか。
- ・自分もカナダでサケ漁をやってみようという気持ちを大きくした。
 - ・サケや捨てられているサケの卵を使って、新しい事業ができないかと考えた。
- 日本から来た人たちが、汗を流しながらも生き生きと働いている姿を見た甚三郎は、どのようなことを考えましたか。
- ・たった一人で海を越え、カナダにやってきたことを思い出していた。
 - ・様々な困難もあったが、カナダでの新しい仕事に取り組んでよかった。
 - ・自分の生き方や考え方にまちはなかった。
 - ・人には言えなかったが、迷いはあった。しかし、何とかしたいという思いが自分の背中を押してくれた。
 - ・ふるさとから来た人たちにも幸せになってほしい。
- 進んで新しいことにチャレンジするために、これからの生活で大切なことは、どのようなことですか。
- ・いろんなことを経験して、夢や目標をもったり、チャレンジすることを見つけることが大切だと思う。
 - ・夢や目標を実現するまで、あきらめず努力することが大切だと思う。

ポイント

●自分の生活経験からチャレンジしたことを想起させます。

ポイント

●ただの思い付きではなく、入念に調べていることに目を向けさせることが大切です。

ポイント

●あきらめずに努力をして夢を追い続けた結果、自分だけでなく、同郷の人々の幸せにもつながったことを捉えさせます。

指導上の留意点及び工夫

- ・及川甚三郎については、リーフレット『及川甚三郎とカナダに渡った登米地方の移民』（登米市教育委員会・宮城教育大学）を参考にすることができる。
- ・資料が長文のため、分割して取り扱ってもよい。前半部分は、甚三郎の性格や人柄、多くの事業を行ってきたことについて、資料後半部分は、たった一人でカナダに渡る強い意志と生まれ故郷の登米への深い思いをつかませ、夢や希望をもって生きることの大切さにも気付かせたい。

先人名

フランク 安田

タイトル

イヌイットを救う

【内容項目】

○4-(8) 国際理解 ・ 3-(1) 生命尊重 ・ 1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○外国の人々や文化を大切にできる心を持ち、人種を越えて共に生きていこうとする心情を育てる。

〈展開例〉

○アラスカやイヌイットについて知っていることはどんなことですか。

- ・とても寒くて氷に閉ざされている所。
- ・生の肉を食べ、毛皮の服を着ている人たち。

○アラスカで多くのイヌイットから認められるようになったフランクはどんな気持ちだったでしょう。

- ・ここでみんなと暮らしていくぞ。

○はしかが流行して多くの人々が亡くなり、イヌイットから頼りにされたフランクはどんなことを考えたでしょう。

- ・娘も死んでしまった。なんとかしなければ。
- ・何とかしたいけど、どうしたらいいんだろう。

○砂金を見つけたとき、フランクはどんな気持ちになったでしょう。

- ・よし、これでみんなを助けられるぞ。

○リーダーとなってイヌイットを救おうとしたのはどんな気持ちからでしょう。

- ・困っている人を見捨てるわけにはいかない。
- ・これ以上人を亡くしたくない。みんなで助かりたい。

○国や人種に関係なく命を救う活動をした人の話を聞いたことがありますか。

- ・マザーテレサ …… 病人、孤児、貧者を救った人
- ・ナイチンゲール …… 戦地で分け隔てのない看護をした人

ポイント

●役割演技などしながら、困惑している場面や状況を想起させ、なんとかしたいというフランクの強い気持ちに共感させます。

ポイント

●フランク同様、命を救う活動をした人物をあげながら、生命尊重、勇気、行動力等について感想を述べさせ、これからの生き方について考えさせます。

指導上の留意点及び工夫

- ・挿絵は拡大表示するなどして心情の把握に生かしたい。
- ・ペアやグループなどお互いの考えを聞き合わせ、人種を越えて共に生き延びること、命を優先して行動したフランクの熱い思いに共感させたい。
- ・偉業を成し遂げた郷土の先人を家族で話題にしたり、原作「アラスカ物語」を紹介するなどして発展させたい。

先人名

秀ノ山 雷五郎

タイトル

小さな体で大横綱に

【内容項目】

- 1-(2) 希望・勇気・努力 ・4-(7) 郷土愛

【本時のねらい】

- 自分の目標に向かって、最後まであきらめないで努力しようとする態度を養う。

〈展開例〉

- 自分の今の夢や目標を書きましょう。

- ・野球選手になりたい。公務員になりたい。テストで100点をとりたい。

- グループで、夢や目標を、「すぐに達成できそう」「達成するには努力が必要」「努力しても達成は難しそう」の3つに分けてみましょう。



- 「未来への架け橋」のP65の「秀ノ山雷五郎」の資料を読みましょう。

- 読んだ感想を発表し、秀ノ山の夢や努力について話し合しましょう。

- ・体が小さくて、体重が軽くても強かった。
・相撲部屋に入門しても稽古できなかった。
・一度は希望を失ったが、横綱になることができた。

- 夢や目標を達成させるためにどんなことを頑張ればよいか考え、短冊に書いてグループで発表しましょう。

- ・毎日素振りを○回する。
・今まで以上に勉強を頑張り、家庭学習も毎日する。
・好き嫌いせず何でも食べる。

ポイント

●少し大きめの付箋を活用し、できるだけ多くの夢や目標を書き出させます。

ポイント

●3つの分類がはっきり分かるようにします。また、お互いに同じような夢や目標をもっている児童の意見交流などがあるとより深まります。

ポイント

●読む際に、秀ノ山の夢やどんな努力や苦労があったのかなど、読む観点を与えることが必要です。

ポイント

●夢や目標を達成させるために、自分が努力すべきことをできるだけ具体的に考えさせることが必要です。また、考えを友達と共有させることも大切です。
●気仙沼市岩井崎にある秀ノ山の銅像は、東日本大震災の大津波にも流されず、現在も立っていることを知らせることも効果的です。

指導上の留意点及び工夫

- ・グループの人数を4名程度にし、お互いの考えや意見を肯定しながら、自由に意見交流ができる雰囲気づくりを工夫する。
・個人の夢や目標を学級全体で共有し、お互いに夢や目標に向かって励まし合うなど、友達との関わりも大切にする。

先人名

落合 直文

タイトル

短歌を多くの人に広める

【内容項目】

- 2 - (4) 思いやり・寛容 ・ 1 - (2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

- 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしながら、目標に向けて努力する態度を養う。

〈展開例〉

- 「将来の夢アンケート」の結果をみてどう思いますか。
- ・ プロ野球選手，保育士，介護士になりたい。
 - ・ それぞれ様々な夢をもっているんだ。
- 直文はどんな夢をもっていたのですか。
- ・ 歌人や国文学者として仕事をしていきたい。
 - ・ 短歌をもっと多くの人に親しめるものにしていきたい。
 - ・ すべての歌人や学者，短歌愛好家が力を合わせる必要がある。
- 新聞の批評を読んだ直文はどんなことを考えていましたか。
- ・ どうして批判されたのだろう。
 - ・ 相手の言うことを受け入れて自分に生かしていきたい。よりよい短歌を作っていきたい。
 - ・ 今りんごを贈れば，せっかく自分の短歌をよくしようとしてくれるのに遠慮して批評をやめるかもしれない。りんごを贈るのはよそう。
- 悪くなってしまったりりんごを見つめながら直文はどんなことを思っていたでしょう。
- ・ これでいいんだ。
 - ・ 子規の病気がよくなってほしい。
 - ・ よりよい短歌つくりのために協力していきたい。
 - ・ これからも努力し続けよう。
- 自分の夢の実現のためにどんなことに気を付けていきたいと思いますか。
- ・ 他の人からの批判にも耳を傾け，自分の行動を振り返ってみることが大切だ。
 - ・ 些細なつまずきで夢をあきらめてはいけない。いろいろな人のアドバイス等を取り入れながら粘り強く取り組むことが大切である。

※教師の説話

ポイント

● 事前に「将来の夢アンケート」を実施しその結果を集計しておくとういでしょう。

ポイント

● これまでの自分の行動を振り返り，これからの行動を書く活動を取り入れます。直文の生き方と比較して，自分の言葉で表現させることが大切です。

指導上の留意点及び工夫

- ・ 終末では，目標に向かって努力した教師の体験談を語り，本時のまとめとしたい。その際，異なる意見や立場を尊重しながら自分の夢を実現していったことなど，人との関わりを通し，自分が成長できたことを紹介し，余韻を残して終わりたい。

先人名

林 子平

タイトル

志あれば必ず道あり

【内容項目】

○1-(5) 真理・創意進取 ・ 4-(7) 郷土愛・愛国心 ・ 1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくしていこうとする心情を育てる。

〈展開例〉

○「ロシアが日本をねらっている」といううわさが本当だと知った子平は、どんな気持ちになったのでしょうか。

- ・ロシアが攻めてきたら仙台藩はどうなるのだろう。
- ・もしかしたら東北地方の人々の命やこれまでの生活が奪われてしまう。

ポイント

●子平の仙台藩や東北地方の人々を思う気持ちに着目させましょう。

○子平は、どんな思いから「三国通覧図説」や「海国兵談」をまとめたのでしょうか。

- ・仙台藩だけの問題ではなく、早くこの危機を幕府や日本の藩に知らせなければならぬ。
- ・今の自分にできることは、本を出して幕府や藩の人々に気付いてもらうことだ。
- ・何とか藩や幕府を説得して、ロシアの侵略に備えなければならぬ。

ポイント

●どんな苦境においても、事実を追求し、自分にできることを行動し続けた子平の姿勢について考えさせましょう。

○苦勞しながら自力で「海国兵談」38部を印刷することができた時、本を手にした子平はどんなことを考えたでしょう。

- ・これでようやく自分の考えを周りに理解してもらえる。
- ・やっと完成できた。これで幕府も動いてくれるだろう。
- ・日本を守るために、もっと広めていかなければならぬ。

ポイント

●日本全体を思い、自分の信念を貫いた子平の生き方をつかませ、自分との関わりで書かせることが大切です。

○林子平の生き方からどんなことを見習いたいですか。

- ・研究心にあふれ、常に学び続けた人だったと思う。私も積極的に学びたい。
- ・自分の信念をつらぬく人生を送ったと思う。僕も勇気をもって行動したい。
- ・日本のことを考え、行動し続けた子平はすごいと思った。私も誰かのために役立ちたい。

指導上の留意点及び工夫

- ・5年生はまだこの時代を学習していないので、鎖国状態であった当時の時代背景や外国との関係を説明しながら、資料を読み進めるようにする。
- ・資料の前半部分では、藩や人のために尽くしたいという子平の気持ちをつかませ、後半部分では、多くの情報を得たり様々な経験を積んだことで、日本全体を思う気持ちが強くなったことをつかませる。
- ・日本の将来を憂い、苦勞を重ねながらも2つの本を書き上げた子平の思いをとらえさせ、その生き方について考えさせるようにする。

先人名

青柳 文蔵

タイトル

日本最初の公開図書館を作る

【内容項目】

○4-(7) 郷土愛 ・ 4-(5) 家族愛

【本時のねらい】

○社会への貢献が父母の名を上げ、郷土の発展につながると考えて行動した青柳文蔵の生き方を通して、郷土を愛し、貢献しようとする心を育てる。

〈展開例〉

○文蔵は、どんな思いから文庫を作ろうとしたのですか。

- ・ 文庫を作れば、だれでも本を読めるようになり、ふるさとのためになるから。
- ・ 人のためになることをすれば、父母が喜ぶから。
- ・ 幼い頃から本を読むことができたのは父母のおかげだから。

ポイント

●社会に奉仕する裏には、父母に感謝し、ふるさとのことを考える文蔵の心情があることをとらえさせましょう。

○文蔵は「書すなわち吾の賢子孫なり」という言葉にどんな思いを込めたのでしょうか。

- ・ 書物は自分の残したものだから。
- ・ 当時は自由に書物を読めないのに、幼いころから書物を読めたのは父母のおかげ。自分も父母のようになりたいから。
- ・ 書物が自分の気持ちを未来に伝えてくれるから。

ポイント

●本文を引用し、「わたしの残す書物～」という回答になると予想されますが、父母やふるさを大切にしたいという思いを自分の子孫に伝えたくても、文蔵は息子を亡くしている事実を伝え、人として知らなければならないことや人としてしなければならないことが分かる書物を我が子と重ねている心情を感じ取らせましょう。

○文蔵のような生き方をどう思いますか。

- ・ 父の恩返しのために、ずっと勉強し続けているのがすごい。
- ・ 蔵書2余巻の他に千両も献上しているので、よほど強い気持ちがあったのだと思った。自分にはできないかも知れない。
- ・ 父母からもらった愛情を自分の子どもにも伝えたいというのは、なるほどと思う。
- ・ 公事師になったり、蔵書を寄付したり、人のためになることをたくさんしている。人のためになることをするのは、それだけ父母やふるさとへの感謝の気持ちがあるからだろう。

指導上の留意点及び工夫

- ・ 資料が長文なので、教師が範読する。
- ・ 終末の「文蔵の生き方をどう思いますか」の場面では、文蔵がどんな志をもち、どのような行動をとったのかを振り返らせながら発表させる。

先人名

大槻 磐溪

タイトル

開国を唱えて

【内容項目】

○1-(5) 真理・創意進取 ・ 4-(7) 郷土愛・愛国心 ・ 4-(2) 公正公平・正義

【本時のねらい】

○正しいと思うことに進んで取り組み、生活をよりよく改善していこうとする心情を育てる。

〈展開例〉

○自分の身に危険が迫っていたにもかかわらず、なぜ磐溪は考えを変えなかったのでしょうか。

- ・黒船のような大型船に攻められたら、大変だと思ったから。
- ・日本が植民地にされないためには、開国が必要だと思ったから。
- ・日本の国が発展するためには、開国することが一番よい方法だと信じていたから。

ポイント

●当時の人々の気持ちと磐溪の考え方を対比しながら、考えさせていきます。

○死を覚悟しながら牢屋で過ごしていたとき、磐溪は、どんなことを考えていたでしょう。

- ・このまま、死刑にされてしまうのだろうか。
- ・何とか元の世界にもどりたい。
- ・たとえ、死刑にされてしまっても、私の考えはまちがっていない。
- ・私がこの世からいなくなっても、きっと私の考えを受け継いでくれる人たちがいるにちがいない。

ポイント

●「自分の志を貫くこと」は、周囲の人々を変えるきっかけにもなることに気付かせることが大切です。

○「わが国も、やっと西洋と肩を並べることができた。」とつぶやいたとき、磐溪はどんなことを考えていたのでしょうか。

- ・これまでの努力がむくわれて、本当によかった。
- ・日本のために、自分の信念を貫き通したことはまちがっていなかった。
- ・これで、日本はさらに発展し、人々の生活も豊かになるだろう。そのことが、私の何よりの喜びだ。

ポイント

●資料を読み取った後に「正しいと思ったことに進んで取り組み」という視点から、児童一人一人の生活を振り返らせる時間を設定しましょう。

○このお話を読んで、あなたはどんなことを感じましたか。

- ・磐溪はとても意志の強い人だと思った。私も目標に向かって努力したい。
- ・自分が正しいと思ったことに進んで取り組むことが大切だと思った。まちがったことをやろうとする人には、進んで注意したい。

指導上の留意点及び工夫

- ・筋の流れをとらえやすくするために、磐溪の生い立ちと関連付けながら、場面ごとに簡単な説明を加えて読み取らせるようにする。
- ・P85ℓ14（日本が中国のように植民地にされないためには、もはや開国しかない）等、発問にかかわる部分で、磐溪の意志が強く表れている記述を押さえながら読み進めていくようにする。

先人名

富田 鐵之助

タイトル

日本の製品を世界へ

【内容項目】

○1-(2) 希望・勇気・努力 ・1-(5) 真理・創意進取 ・4-(7) 郷土愛・愛国心

【本時のねらい】

○より高い目標を立て、その実現に向けて強い気持ちで取り組もうとする心構えを育てる。

〈展開例〉

○勝海舟の手を思わず強くにぎり返した鐵之助はどんな気持ちになりましたか。

- ・新しい国づくり、日本の将来のための責任感をもった。
- ・海舟の期待に応えようとする決意が芽生えた。
- ・今度は最後までやり抜くぞという強い気持ちになった。

ポイント

●「強く」という言葉が、鐵之助の思いの強さであることを考えさせましょう。

○お茶や生糸の品質を高めるために来る日も来る日も政府の担当者のもとへ足を運んだ鐵之助はどのような気持ちだったのでしょうか。

- ・日本をさらに発展させ、人々の生活を豊かにしたい。
- ・勝海舟との約束を最後まで果たさなければならない。
- ・粘り強く交渉を続ければいつか必ず自分の提案が正しいと分かるはずだ。

ポイント

●鐵之助の熱心さが、日本を離れる時にもった志から来ていることに気付かせましょう。

○鐵之助が大事にしていたのは、どんなことですか。

- ・「おごることなく」常に謙虚さを持ち続けること。
- ・自分ができるところに、精いっぱい取り組むこと。
- ・正しいと思ったことを、地道に続けること。
- ・今自分が何をしたらいいかしっかり考えて行動すること。

ポイント

●目標に向かって努力している自分のことを振り返らせる時間を設定すると効果的です。

○目標に向かってあなたが日々努力していることを紹介しましょう。

- ・野球の選手になるために、毎日休まずバットを素振りしている。
- ・海外で仕事をしたいので、英語の勉強を毎日続けている。
- ・明るく楽しい学校にするため、自分から積極的にあいさつすることを心がけている。

指導上の留意点及び工夫

- ・話の流れをとらえやすくするために、場面ごとに簡単な説明を加えて読み取らせるようにする。
- ・「志をもつ」「やり遂げる」という観点から、児童の生活を振り返らせる発問を設定する。

先人名

一力 健治郎

タイトル

東北の発展を願って

【内容項目】

○4-(7) 郷土愛・愛国心 ・1-(2) 希望・勇気・努力 ・1-(5) 真理・創意進取

【本時のねらい】

○河北新報社を設立し、様々な困難を乗り越えながら、東北の発展のために尽くした一力健治郎の業績の素晴らしさについて考え、郷土を愛し、郷土の役に立とうとする心情を育てる。

〈展開例〉

- 「河北新報」について知っていることを発表しましょう。
 - ・自分の家で取っている新聞だ。
 - ・僕（私）の家でも取っている。
 - ・宮城県の記事がたくさん載っている。岩手県や福島県等、宮城県の記事以外にも東北地方の記事が多い。
- 経営が厳しい新聞社を引き受けることにした健治郎は、どんなことを考えましたか。
 - ・厳しい道だが、東北のためにがんばるぞ。
 - ・「河北新報」と名付けて、東北を馬鹿にしている人たちを見返してやりたい。
- 政府から販売を一時禁止されることになった健治郎は、どんなことを考えましたか。
 - ・こんなことでくじけていたら、東北の発展は止まってしまう。絶対に負けないぞ。
 - ・東北の貧しい農民を救うためだ。必ず農奴解放を成し遂げるぞ。
- 発展した現在の東北の姿を、健治郎はどんな気持ちで天国から見守っているのでしょうか。
 - ・大震災で苦しんでいる人はいるが、新幹線や高速道路も作られ、東北も発展してよかった。
 - ・自分の努力は東北の発展の役に立ててうれしい。
 - ・これからもどんどん発展して東日本大震災から見事に復興して欲しい。
- 東北の将来に向けた自分の夢や願いを発表しましょう。
 - ・美しい自然を大切に、より豊かに発展するため役に立つ仕事がしたい。
 - ・みんなで力を合わせて一日も早く復興し、東北人の粘り強さを証明したい。

ポイント

●「河北新報」を購読している家庭が多いことから、この新聞が宮城（東北）の多くの人に必要とされていることをつかませましょう。

ポイント

●単なる夢や願いだけではなく、自分が東北の将来にどう関わっていくのかという視点で話し合わせることで、自分の問題として考えさせます。

指導上の留意点及び工夫

- ・「河北新報」が宮城県内の新聞市場占有率で他紙を圧倒していることについては、新聞市場占有率等の公式のデータを示すことにより、より客観的につかませたい。
- ・「白川以北一山百文」という言葉について解説し、当時の東北地方がいかに貧しく、他の地方の人々から侮蔑されていたかをつかませるとともに、健治郎が新聞づくりに取り組むことを決心した意気込みの強さを想像させる。

先人名

酒井 げん

タイトル

女性の美しさを求めて

【内容項目】

○1-(5) 真理・創意進取 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○志をもち、その実現に向けて、自分の思いを貫き通すことの大切さに気付かせるとともに、自分の特徴を知り、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。

〈展開例〉

○師匠から一本立ちを認められ独立し、仙台で開業したげんはどんなことを考えましたか。

- ・ やっと、夢がかなった。
- ・ 夢をかなえるためのスタート台に立つことができた。
- ・ くじけずに努力してきたかいがあった。
- ・ 親孝行ができる。
- ・ 両親にたのんだときに、簡単にあきらめなくてよかった。

ポイント

●「何度も何度も」から、げんの思いの強さを考えさせることができます。

◎『髪の毛のしおり春笑草』を開き、写真を一つ一つ見つめ、うなずいたげんはどんなことを考えましたか。

- ・ 小さい頃からの夢がかなった。
- ・ 自分の仕事の跡を、後の世に残すことができる。
- ・ 苦労は多かったが、1枚1枚の写真にいろいろな思い出があった。
- ・ まだまだ自分にはやることがある。
- ・ 写真集がゴールではない。
- ・ 自分の技術を早く次の世代の人に伝えたい。
- ・ もっと新しい髪形を工夫してみたい。

ポイント

●自分の技術を単に伝えるのではなく、写真画像に残そうと考えたげんの発想の豊かさに触れることも考えられます。
●写真集の完成がゴールではなく、さらなる高みを目指そうとするげんの追求心にも触れさせていくのも効果的です。

○げんの生き方について、どのように考えますか。

- ・ 簡単に写真を撮ることができない時代でも、記録を残すことはすばらしい。
- ・ 小さい頃に夢や志をもって、その実現に向けて努力したことはすばらしいと思う。
- ・ 当時のことを考えると、許可した親もえらいと思うが、やはり、自分の思いを貫くために親を説得したげんの強い思いを感じる。
- ・ 日本の伝統の髪型は、げんのような人によって受け継がれてきたんだと思う。
- ・ げんは多くの女性を喜ばしてきたんだと思う。

指導上の留意点及び工夫

- ・ 長文であることから、事前に一読させておくとよい。また、資料への興味を高めるとともに、時代背景等を押さえるために、当時の生活が分かる写真集等を提示して、臨場感をもたせる等の工夫をすることも有効である。
- ・ 「・・・一に衣装、二に髪型というけれど、・・・何よりも髪型が一番である。」は、げんの生前の言葉（子孫談）であり、げんの思いが強く表れている言葉である。この部分を取り上げることも考えられる。

先人名

志賀 潔

タイトル

赤痢菌を発見する

【内容項目】

○1-(2) 希望・勇気・努力 ・1-(5) 真理・創意進取 ・4-(4) 勤労・社会奉仕

【本時のねらい】

○高い目標をもち、あきらめないで努力しようとする心情を養う。

〈展開例〉

- 今までに、目標に向かって頑張ったという経験はありますか。
 - ・書きぞめで特選をとるために、納得がいくまで練習を繰り返した。
 - ・スポーツ少年団の大会で優勝したくて、練習が終わったあとも一人で練習を続けた。
- 志賀が細菌学者になろうと思ったのは、どのような思いからでしょうか。
 - ・顕微鏡でいろいろなことを調べる仕事をしたい。
 - ・得意なことを生かしたい。
 - ・多くの人の命を救いたい。
 - ・細菌学はこれから発展する学問だから。
 - ・医者にならなくても病気の治療に役立つ大切な仕事だから。
- 何度繰り返しても思ったような結果が出ず、それでも実験を続けたのはなぜだと思いますか。
 - ・自分の役割の大切さを理解していたから。
 - ・途中で投げ出さなくなかったから。
 - ・いつか必ず赤痢菌を見つけられるはずだと信じていたから。
- 赤痢菌を発見し、喜びにあふれた顔で北里先生を見たとき、志賀はどんなことを考えたと思いますか。
 - ・やっと実験がうまく行ってよかった。
 - ・あきらめずに取り組んできてよかった。
 - ・これで多くの人の役に立つことができる。
 - ・北里先生が厳しく教えてくださったおかげだ。
 - ・北里先生の支えに感謝したい。
- 自分の夢をかなえるために、どのようなことを頑張っていますか。また、もし壁にぶつかったらどのように乗り越えようと思いますか。
 - ・自分の得意なことをもっと強くするように練習している。
 - ・先生や家族のアドバイスを参考にしている。
 - ・少し失敗しても、あきらめないで工夫をするようにしたい。

ポイント

●あらかじめアンケートをとっておき、意図的に指名します。

ポイント

●壁にぶつかったときに、どのような気持ちで乗り越えることができたのか、考えさせることが大切です。

ポイント

●今の自分が努力していることや、困難に立ち向かう方法をワークシートにまとめ、自分を見つめさせると効果的です。

指導上の留意点及び工夫

- ・感染症の研究の場合、自分が感染する危険もあることを知らせ、それでも研究を続ける意志の強さに気付かせる。6学年で実施する場合、野口英世の例を挙げてもよい。
- ・教師の説話を聞かせ、自分の生き方に対する思いをあたためるとよい。

先人名

本多 光太郎

タイトル

新しい金属をつくる

【内容項目】

○1-(2) 希望・勇気・努力 ・1-(5) 真理・創意進取

【本時のねらい】

○目標をもつことの大切さを理解し、くじけずに希望と勇気をもって努力しようとする態度を育てる。

〈展開例〉

○寺田先生のことばを聞いた光太郎は、どんな気持ちになりましたか。

- ・先生は僕の可能性を信じてくれている。努力して期待に応えたい。
- ・一生懸命努力すれば、苦手なことでもできるかもしれない。
- ・高い目標をもって努力することが、自分の将来を切り拓くのだ。

ポイント

●導入では価値の方向付けを図り、初発の発問で、高い目標を持つことの大切さについて考えさせましょう。

○消防服を着て水をかけながら毎日実験に取り組んだ光太郎は、どんな気持ちだったでしょうか。

- ・何とかして、新しい金属をつくるという目標を達成させたい。
- ・必ずできると信じて取り組まなければ。
- ・本当に新しい金属をつくることができるだろうか。
- ・こういった実験の日々はいつまで続くのだろう。

ポイント

●実験中、時に不安やいら立ちを感じる日があったとしても、希望と勇気をもって取り組む強さが目標達成へ導くことに気付かせます。

○KS鋼ができた瞬間、光太郎はどんな気持ちになりましたか。

- ・実験したみんなとともに励まし合いあきらめずに取り組んできてよかった。
- ・途中でやめずに粘り強く取り組んだからこそ、得られた結果だ。
- ・さらに強い新しい金属をつくることを目指そう。

○これまでに目標を掲げ、それに向かってあきらめずに努力を続けてよかったと思うことはありますか。

- ・マラソン大会で完走を目標に毎朝早く登校して練習したら、入賞できた。
- ・学習発表会の劇で台詞を間違えないで言うことを目標にしたけれど、なかなか台詞を覚えられず、やめてしまおうかと思った。でも、みんなに励まされたので頑張ることができ、台詞をしっかり言うことができた。たくさん拍手をもらってうれしかった。

ポイント

●本時の内容項目について、実践時欲へと高めるために、自分との関わりから考えさせると効果的です。

指導上の留意点及び工夫

- ・光太郎の生き方から、自分の将来を切り拓いていくためにも目標をもつことの大切さに気付かせていく。
- ・資料には表されていない実験中の光太郎の不安やいら立ちなど心の葛藤に気付かせ、希望と勇気をもって取り組むことが、人間の弱さを克服して目標の達成につながることを考えさせていく。

先人名

土井 晩翠

タイトル

新しい詩の世界を開く

【内容項目】

○1-(5) 真理・創意進取 ・1-(2) 希望・勇気・努力

【本時のねらい】

○自分の夢に向かい、積極的に進歩したものを取り入れながら新たな自己をつくっていかうとする心情を育てる。

〈展開例〉

○林吉はひとみをかがやかせ、未来に夢をもちながら、どんなことを考えましたか。

- ・いろいろな本を読むのはおもしろいなあ。
- ・西洋の詩はすばらしいなあ。
- ・英語を勉強して、もっとたくさんの詩を読みたいなあ。

ポイント

●晩翠の、働きながら勉強を続け、父たちを説得してでも夢を叶えたいという意志の強さを感じ取らせるのが大切です。

○林吉は、英語学校でどんなことを思い浮かべて笑みを浮かべましたか。

- ・英語学校にいったら自分の好きな本をもっとたくさん読めるぞ。
- ・英語学校で自分の好きな勉強をたくさんできるぞ。
- ・祖父や父に学校に通うことを認めてもらったから思う存分好きな英語の勉強ができるぞ。
- ・自分のやりたい英語の勉強や読書に集中して取り組んでいる自分の姿を思い浮かべてうきうきしていると思う。

ポイント

●自分の夢を途中であきらめずに努力を続けた達成感や人々に慕われ続けている喜びに共感させられるようにします。

◎「荒城の月」が多くの人々に歌い継がれていることについて、晩翠は天国からどんな思いで見つめているのでしょうか。

- ・自分の作った詩が、後世の人々に歌い継がれてとてもうれしい気持ちでいると思う。
- ・自分の詩が大切に歌い継がれていてうれしい。
- ・自分の夢に向かって途中であきらめずにがんばってきてよかったなあ。

○土井晩翠の生き方を知って、あなたはどんなことを感じましたか。

- ・自分の夢をあきらめずに、勉強していくと喜びが待っていると思った。
- ・祖父や父を説得して自分の夢を実現している晩翠は意志の強い人だと思った。

指導上の留意点及び工夫

- ・導入段階で土井晩翠の「荒城の月」の詩を提示して曲を聴かせる。
- ・筋の流れをとらえやすくするために、場面ごとに簡単な説明を加えて読み取らせるようにする。
- ・ワークシートを活用し、発問後に自分の考えを記入させてから発表させる。

